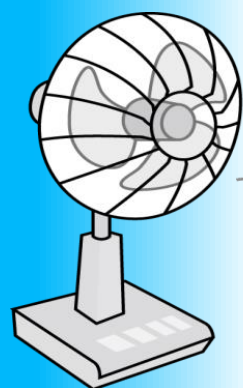


家畜の暑熱対策と飼養者の熱中症予防

- ◆6月以降、高温・多湿の日が続くことが予想されています。
- ◆被害が出る前に、家畜、家さんの暑熱対策を講じましょう。
- ◆飼養者自らが熱中症予防に常日頃から心掛けましょう。
- ◆気候が急変して豪雨、竜巻などが発生する危険性も高まります。人命と安全を最優先して作業にあたりましょう。



家畜、家さんは直射日光の当たらない通気の良い環境で無理無く飼養しましょう

- ◆家畜、家さん飼育者は作業前、作業中に必ず点検しよう！
(農林水産省生産局技術普及課資料参考)



- ・日中の気温の高い時間帯を外して計画的に作業を行いましょう。
- ・作業前、作業中の水分補給、小まめに休憩をとりましょう。
- ・熱中症予防グッズ（帽子、吸汗速乾衣料など）を活用しましょう。
- ・一人での作業を避けましょう。
- ・高温多湿の環境を避けましょう。
- ・健康状態を常に把握し、熱中症を疑ったら即作業を中断しましょう。

WITHコロナに伴う熱中症対策のポイントについては裏面を参考としてください

厚労省と環境省がWITHコロナ時代の熱中症予防行動のポイントを出しました。十分な感染症予防を行いながら、熱中症予防にもこれまで以上に心掛けてください。

「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイント

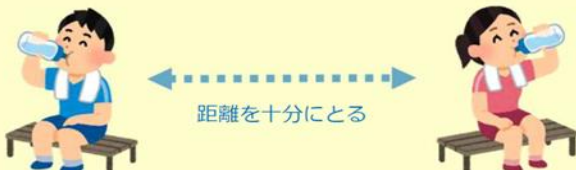
新型コロナウイルスの出現に伴い、感染防止の3つの基本である①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗いや、「3密（密集、密接、密閉）」を避ける等の「新しい生活様式」が求められています。このような「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイントは以下のとおりです。

1 暑さを避けましょう

- ・エアコンを利用する等、部屋の温度を調整
- ・感染症予防のため、換気扇や窓開放によって換気を確保しつつ、エアコンの温度設定をこまめに調整
- ・暑い日や時間帯は無理をしない
- ・涼しい服装にする
- ・急に暑くなった日等は特に注意する



2 適宜マスクをはずしましょう



- ・気温・湿度の高い中でのマスク着用は要注意
- ・屋外で人と十分な距離（2メートル以上）を確保できる場合には、マスクをはずす
- ・マスクを着用している時は、負荷のかかる作業や運動を避け、周囲の人との距離を十分にとった上で、適宜マスクをはずして休憩を

3 こまめに水分補給しましょう



- ・のどが渇く前に水分補給
- ・1日あたり1.2リットルを目安に
- ・大量に汗をかいた時は塩分も忘れずに

4 日頃から健康管理をしましょう



- ・日頃から体温測定、健康チェック
- ・体調が悪いと感じた時は、無理せず自宅で静養

5 暑さに備えた体作りをしましょう



- ・暑くなり始めの時期から適度に運動を
- ・水分補給は忘れずに、無理のない範囲で
- ・「やや暑い環境」で「ややきつい」と感じる強度で毎日30分程度

高齢者、子ども、障害者の方々は、熱中症になりやすいので十分に注意しましょう。3密（密集、密接、密閉）を避けつつ、周囲の方からも積極的な声かけをお願いします。

